

市政運営の所信

平成24年3月5日

はじめに

平成24年第1回定例会の開会にあたりまして、今後の市政運営に関する所信を申し述べます。

議員の皆さまをはじめ、市民の皆さまには、心温まるご支援、ご尽力を賜りました。この場をお借りいたしまして改めて厚くお礼を申しあげます。ありがとうございました。

非常に強い寒気団（渋滞寒気）に悩まされながらの初めての選挙でございました。市民の皆さまから多大なるご信任をいただき、明田前市長から託された市政運営の舵取りが実現し、市長としてのスタート地点に立たせていただくことができました。

関西の中心という地の利を生かし、市民の皆さまの力をお借りしながら、わがまち八幡の発展とともに、安全・安心で安定した心豊かな暮らしを実現させることが私に課せられた使命でございます。

先輩諸氏がお築きくださいました多くの成果や実績を継承しつつ、この地に生まれ、行政一筋38年の経験を生かし、財政の健全化をはじめ、教育、福祉のさらなる充実など与えられた諸課題を市民の皆さまと一緒に取り組む、市民一人ひとりが輝く、市民と協働したまちづくりを進めてまいります。

それでは、市政を取り巻く諸課題について申し述べます。

我が国の経済は、先の大震災や台風等の自然災害などにより、一時的に揺らいでおり、世界経済の減速と円高とが相まって、より厳しさを増しております。完全失業率も高く、雇用状況が及ぼす地方財政への影響が懸念されるなか、市民に最も身近な地方自治体への権限移譲、

義務付け・枠付けの見直しが平成24年度から本格化し、補助金の一括交付金化も進んでまいります。このような国の動向を十分注視しながら将来への展望をしっかりと持ち、当面する諸課題を先送りすることなく解決に向けた道筋を一つひとつ明らかにして、まちづくりへの取組みを進めてまいります。

長引く景気の低迷と少子高齢社会の進展に伴い、市税収入の減少が懸念されるところであります。また、地方固有の財源である地方交付税にも期待できないことから、この間、職員定数の削減や給与の削減などの行財政改革に取り組んでまいりました。しかし、年を追うごとに増加する医療・社会保障関係経費や人口急増時に採用した職員の退職問題など、今後の市政運営は依然として厳しい状況にあります。

このような中でも、第4次八幡市総合計画で定められた基本目標により、これからのわがまち八幡づくりを進めてまいります。

1つには、人権を大切にし、みんなが力をあわせて進めるまちづくりです。

昨年の3月11日、未曾有の被害が発生した東日本大震災をはじめ、台風などの自然災害の脅威から悲しみ、命の儚さ、尊さを改めて感じるとともに、大切なものは何かをもう一度考えさせられました。人との絆、助け合う心、分かち合う喜びの大切さが実感できるコミュニティづくりを進めるとともに、市民一人ひとりが、人権を尊重し、互いを認め、理解しあうことを基本に、市民、NPO、事業者、行政の協働によるわがまち八幡づくりを進めます。

2つには、次代を担う人づくりを進め、文化芸術を守り育てるまちづくりです。

わがまち八幡の将来を担う子どもたちの健やかな成長はすべての市民の願いであり、私たち大人の責務であります。いじめ、不登校、児童虐待など子どもたちを取り巻く様々な問題の解決に向け、家庭、学校、地域等の連携を強化し、子どもたちの生きる力を育むとともに、教育環境のさらなる充実に努め、京都府一番の学力をめざします。また、子育てに喜びを感じ、希望が持てるよう、子育ての環境を充実させ、子育ての不安や負担の軽減に努めます。

市民の皆さまが文化芸術・スポーツ等の活動を通じて、地域に愛着を持ち、心豊かにうるおいのある暮らしを送ることができるよう、市民の自発的な活動を支援するわがまち八幡づくりを進めます。

3つには、豊かな自然を守り、循環型の社会づくりを進めるまちづくりです。

京都府内で初めてとなる環境自治体宣言や美しいまちづくり条例を大切にし、市民、事業者、行政が協働するとともに、本年1月に国の史跡に指定された石清水八幡宮を始めとする多くの文化遺産や三川合流域など豊かな自然を生かしたわがまち八幡づくりを進めます。

4つには、だれもが明るく元気に暮らせるまちづくりです。

少子高齢化が進行するなかで、だれもが健康で長生きできるまちを実現するために、保健・医療、福祉の各分野において、ボランティアやNPOをはじめとする地域コミュニティの福祉活動を支援していくとともに、市民の皆さまの健康意識の高揚に努め、日々安心して、楽しく、豊かに暮らせるような総合的なわがまち八幡づくりを進めます。

5つには、人がつどい、活力あふれるまちづくりです。

元気で、活気あふれるまちで有り続けるためには、安全で新鮮な農産物が提供できる都市近郊型農業や高速道路網という地の利を生かした商工業の振興及び人が賑わうまちであることが欠かせません。また、歴史・文化資源など誇れるまちの宝を幾世代にもわたり引継ぎ、市内外に「八幡」の魅力を発信し、「来たい 見たい 住みたい」そんなわがまち八幡づくりを進めます。

6つには、安心して暮らせる安全で快適なまちづくりです。

自然の脅威による被害を最小限に留めなければならないという強い思いのもと、市民の皆さまとの協働による災害に強いわがまち八幡づくりを進めます。

市民の皆さまの安全・安心を脅かす問題を迅速・的確に把握し、これまで以上に安全で安心なわがまち八幡づくりを進めます。

開発から40年になる男山地域の再生に努めるなど住環境の向上や公園・緑地等の整備により、快適でうるおいのあるわがまち八幡づくりを進めます。

これら第4次八幡市総合計画に示された基本目標の実現に向け、行財政改革に引き続き取組むとともに、市民と市の役割を明確にし、市民と行政の力で、新しい八幡を开花させ、市民一人ひとりが輝く、市民と協働したまちづくりをめざしてまいります。

以上が、市政の舵取りをさせていただくにあたりましての私の思いでございます。2月27日に市長に就任させていただきましたことから、本定例会にご提案申しあげております平成24年度予算案につき

ましては、骨格的な予算案でございます。

今一度、本市が直面します課題や取り組むべき施策など、市民の皆さまとお約束したことにつきましては、更に検討し、6月に予定されています第2回定例会にご提案を申しあげるとともに、平成24年度からスタートします第4次八幡市総合計画後期基本計画につきましてもお示しさせていただく予定をしております。

この4年間、京都府と力をあわせながら、市議会の皆さま、市民の皆さまとともに、ふるさと八幡のために頑張ってまいります。

何とぞ議員の皆さまの一層のご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

八幡市長

堀口文昭